

令和5(2023)年度年間授業計画 東京都立中野工科高等学校 定時制課程

3 学年 1 組

担当者名 _____ 印

科目名 国語総合 _____ 単位 1 _____ 担当者名 _____ 印

教科書名 高等学校 改訂版 標準国語総合（第一学習社） _____ 担当者名 _____ 印

副教材等 _____ 担当者名 _____ 印

目 標	- 文章の基礎理解を確実にする。 - 古典文学作品に親しむ。
--------	---

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4 月	漢字の学習 小説を読む「鏡」	常用漢字を文章の中で使えるようにする 物語の展開や要旨を的確に捉える	文章の正確な読解や漢字の 書き取りについて、定期考査 や漢字小テスト、課題の提出 状況、授業への参加姿勢、出 席状況等を総合的に勘案し て評価する。	2
5 月	漢字の学習 小説を読む「鏡」	常用漢字を文章の中で使えるようにする 物語の展開や要旨を的確に捉える		5
6 月	漢字の学習 小説を読む「鏡」	常用漢字を文章の中で使えるようにする 物語の展開や要旨を的確に捉える		4
7 月	漢字の学習 古文を読む「東下り」「筒井筒」	常用漢字を文章の中で使えるようにする 古文を読む能力を養い優れた表現に親しむ		3
9 月	漢字の学習 古文を読む「東下り」「筒井筒」	常用漢字を文章の中で使えるようにする 古文を読む能力を養い優れた表現に親しむ	文章の正確な読解、古典作品 の理解、漢字の書き取りにつ いて、定期考査や漢字小テス ト、課題の提出状況、授業へ の参加姿勢、出席状況等を総 合的に勘案して評価する。	3
10 月	漢字の学習 古文を読む「東下り」「筒井筒」	常用漢字を文章の中で使えるようにする 古文を読む能力を養い優れた表現に親しむ		5
11 月	漢字の学習 古文を読む「東下り」「筒井筒」	常用漢字を文章の中で使えるようにする 古文を読む能力を養い優れた表現に親しむ		4
12 月	漢字の学習 評論を読む「科学は正しいか」	常用漢字を文章の中で使えるようにする 論理の展開や要旨を的確に捉える		3
1 月	漢字の学習 評論を読む「科学は正しいか」	常用漢字を文章の中で使えるようにする 論理の展開や要旨を的確に捉える	文章の正確な読解や漢字の 書き取りについて、定期考査 や漢字小テスト、課題の提出 状況、授業への参加姿勢、出 席状況等を総合的に勘案し て評価する。	4
2 月	漢字の学習 評論を読む「科学は正しいか」	常用漢字を文章の中で使えるようにする 論理の展開や要旨を的確に捉える		4
3 月	一年間のまとめ	一年間の学習を振り返り、学習内容の理解 を深める		2

令和5(2023)年度年間授業計画

東京都立中野工科高等学校 定時制課程

3学年 1組

科目名	現代社会	単位	2	担当者名	印
教科書名	高等学校 現代社会新訂版(清水書院)			担当者名	印
副教材等				担当者名	印

目標	現代の社会と人間について理解を深め、現代社会の抱える基本的な問題について、主体的に考え、公正に判断するとともに自ら人間としての在り方・生き方について考える力の基礎を養い、良識のある公民として必要な能力と態度を育てる。
----	--

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	地球環境問題と国際社会の対応	地球環境問題と国際社会の対応について理解する	定期考査の得点を基本に、授業時における態度や提出物の提出状況とその内容なども考慮して、総合的に判断する。	5
5月	生命科学と倫理 高度情報社会と問題点	生命科学と倫理、高度情報社会と問題点について理解する		8
6月	現代社会と青年の生き方	現代社会と青年の生き方について理解する		8
7月	働くこと、労働問題 ボランティア活動	働くこと、労働問題、ボランティア活動について理解する		8
9月	伝統文化と最近の文化	伝統文化と最近の文化について理解する	定期考査の得点を基本に、授業時における態度や提出物の提出状況とその内容なども考慮して、総合的に判断する。	8
10月	現代の経済生活 資本主義経済のしくみ	現代の経済生活、資本主義経済のしくみについて理解する		8
11月	社会保障制度	社会保障制度について理解する		8
12月	消費者問題	消費者問題について理解する		7
1月	現代の民主政治 基本的人権、政府	現代の民主政治、基本的人権、政府について理解する	学年末の評価 一学期および二学期の評価をもとに総合的に判断する。	8
2月	国際社会と日本 国家と安全保障	国際社会と日本、国家と安全保障について理解する		7
3月	1年間のまとめ	1年間の現代社会授業の要点について理解する		3

令和 5 (2023) 年度 年 間 授 業 計 画 東京都立中野工科高等学校 定時制課程

3 学年 1 組

科目名	数学 I	単位	1 単位	担当者名	印
教科書名	東京書籍 改訂新数学 I			担当者名	印
副教材等				担当者名	印

目 標	三角比の演習及びデータの分析，集合と論証について基礎的な知識の習得と数学的な見方や考え方のよさを理解し，身近な事象を数量的にとらえる能力を培い，数学の有用性を認識できるようにする。
-----	--

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4 月	三角形の面積 の演習	2 辺の長さとその間の角度から、三角形の面積を表す公式を確認し、面積を求めることを深める	定期考査の点数、毎回のプリント提出、授業中の取り組みを総合的に評価する。	3
5 月	正弦定理 余弦定理 三角比と座標 の演習	三角形のそれぞれ辺や角の関係を確認しそれぞれの定理の理解を深める。 鈍角までの三角比について理解を深める。		3
6 月	三角比の相互関係 鈍角の三角比と計量 の演習	鈍角の場合も三角比から面積や辺の長さなどを求めることを深める。		5
7 月	オリンピックと測量	オリンピック競技から三角比を用いて距離等を求めることができる。		3
9 月	データの整理 データと度数分布表	全体の傾向や特色を見やすくし、データの整理をする方法を理解する。	定期考査の点数、毎回のプリント提出、授業中の取り組みを総合的に評価する。	4
10 月	代表値	データ全体の特徴を表す数値の求め方や選び方を理解する。		4
11 月	四分位数と箱ひげ図 分散と標準偏差	中央値や平均値をもとにして、データの散らばり具合を数値や図・表で表すことを理解する。		4
12 月	相関関係 相関係数	2 つの数量の関係について図を用いて調べ、その関係の度合を理解する。相関関係を数値で表すことを理解する。		3
1 月	集合	ものの集まりについて、その表し方、用語、記号を理解する。	定期考査の点数、毎回のプリント提出、授業中の取り組みを総合的に評価する。	3
2 月	命題と集合	あることがらが、正しいか正しくないかを調べるための方法や用語を理解する。		4
3 月	命題と証明	命題が真であることを示す方法として間接的に証明する方法を理解する。		2

校 長	副 校 長		教務主任

令和5(2023)年度年間授業計画 東京都立中野工科高等学校 定時制課程

3 学年 1 組

科目名 化学基礎 単位 2

教科書名 高校化学基礎新訂版

副教材等

担当者名 印

担当者名 印

担当者名 印

担当者名 印

目 標	- 化学基礎における基本的・基礎的な知識を理解させる。 - 実験を通して自然に対する見方や考え方を育成する。 - 基本的な学習習慣を身に付けさせるとともに学習意欲態度を育成する。
--------	---

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4 月	序章化学と人間生活 物質の製造・物質の利用 物質の性質と役割	物質がスポーツなどの発展に関係していることを理解し、学習の動機付けとする。	1 期評価方法 学習意欲、学習内容の理解、問題解決の工夫ができたかという観点、中間・期末考査による試験結果及び授業参加意欲などを総合的に判断する。	5
5 月	第1章物質の構成粒子 第1節物質の探求	物質は混合物と純物質、化合物と単体などに分類されることを学習する。		8
6 月	第1章物質の構成粒子 第2節物質の構成粒子	原子の電子配置とその表し方（電子式）を学習する。		8
7 月		元素の周期律を理解し、周期表の成り立ちを学習する。		4
9 月	第2章物質と化学結合 第1節イオン結合	イオン結合とイオン結晶の形成について学習する	2 期評価方法 学習意欲、学習内容の理解、問題解決の工夫ができたかという観点、中間・期末考査による試験結果及び授業参加意欲などを総合的に判断する。	8
10 月	第2章物質と化学結合 第2節共有結合	共有結合と分子の形成について学習する。		8
11 月	第2章物質と化学結合 第3節金属結合	金属結合と金属結晶の形成について学習する		7
12 月	第3章物質の変化 第1節物質と化学反応式	物質と粒子の数、質量との関係を学習する。		4
1 月	第3章物質の変化 第1節物質と化学反応式	化学反応式を学習する。		7
2 月	第2節酸と塩基	酸と塩基の定義を理解する。中和と中和について学習する。	学年末評価 1～3学期の評価を総合的に判断する。	7
3 月	第3節酸化還元反応	酸化と還元の定義を理解する。 酸化剤と還元剤の反応を学習する。		4

校 長	副 校 長		教務主任

令和 5(2023)年度 年 間 授 業 計 画 東京都立中野工科高等学校 定時制課程

3 学年 1 組

担当者名 _____ 印

科目名 体育 _____

単位 2 _____

担当者名 _____ 印

教科書名 _____

担当者名 _____ 印

副教材等 _____

担当者名 _____ 印

目 標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
--------	---

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4 月	体育理論・体づくり運動	・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるように指導する。	・主体的で意欲的に取り組んでいるか（観察）	6
5 月				8
6 月		・卓球	・自己や仲間の課題に応じて運動の取り組み方を工夫しているか（観察）	8
7 月				6
9 月		・バドミントン	・運動の特性に応じた段階的な体育技能を身に付けているか（観察・テスト）	8
10 月				8
11 月		・ラグビー	・健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している（観察）	8
12 月				6
1 月		・持久走 ・バスケットボール ・ボッチャ ・ゴールボール		6
2 月				8
3 月				6

校 長	副 校 長		教務主任

令和5(2023)年度 年間授業計画 東京都立中野工科高等学校 定時制課程

3 学年 選択

担当者名 _____ 印 _____

科目名 コミュニケーション英語 I 単位 1

教科書名 *All Aboard! English Communication I* 東京書籍

副教材等 単語・文法等のプリント

目標	1、2年生での学習をもとに、テキストの題材を通して英文を読解する力を養うとともに、英文法の基礎を確実なものとするための学習を行う。また、コミュニケーション能力を養うために必要な知識（文法、表現、音声など）を身につける。
----	---

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	Lesson 9 Pigs from across the Sea ①	・ 関係代名詞の用法 ・ who, which, thatの使い方	1学期 ・ 各単元で学習した内容を把握し、学習した表現を使うことができる。 ・ 授業へ取り組む態度、 出席、ノート、プリント、定期考査等を考慮し、総合的に評価する。	3
5月	Lesson 9 Pigs from across the Sea②	・ 関係副詞の用法 ・ where, whenの使い方		4
6月	Lesson 9 Pigs from across the Sea③	・ It ~ (for A) to ~.の構文 ・ (形式主語を伴う表現)		4
7月	1学期のまとめ	1学期期末考査		3
9月	Lesson 10 I Am Malala ①	・ 分詞構文の用法 ・ where, when の使い方	2学期 ・ 各単元で学習した内容を把握し、学習した表現を使うことができる。 ・ 授業へ取り組む態度、 出席、ノート、プリント、定期試験等を考慮し、総合的に評価する。	4
10月	I Am Malala②	・ 仮定法過去 If + 過去形, ~ would, could ~.		4
11月	I Am Malala③	・ I wish ~ 過去形.		4
12月	2学期のまとめ	2学期期末考査		3
1月	Reading 2①	・ Alone ・ SVO(O = that ~) ・ SVOO, SVOC	3学期 各単元で学習した内容を把握し、学習した表現を使うことができる。	4
2月	Reading 2②	・ It is ... (for A) to ~.... の表現 (形式主語を伴う形式)		3
3月	学年のまとめ	学年末考査		3

校長	副校長		教務主任

令和 5(2023)年度 年 間 授 業 計 画 東京都立中野工科高等学校 定時制課程

3 学年 1 組

担当者名 _____ 印

科目名 人間と社会 単位 1

担当者名 _____ 印

教科書名 人間として在り方生き方に関する教科書

担当者名 _____ 印

副教材等 _____

担当者名 _____ 印

目 標	よりよい生き方を主体的に選択し行動する力や自らの価値観を高める姿勢を育成するとともに、社会に潜在する課題を見いだす力を育む。
--------	--

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4 月	働くことの意義	現代社会でいかに生きるかをレポートで考察させる。	○主体的に学習に取り組む態度	3
5 月	働くことの意義	現代社会における工業の在り方についてレポートに考察させる。	評価方法：観察 ○思考・判断・表現	6
6 月	働くことの意義	働くことの意義について振り返ることで理解を深めさせる。	評価方法：レポート ○知識・技能	3
7 月	役割と責任を考える	現代社会でいかに生きるかをレポートで考察させる。	評価方法：レポート	2
9 月	役割と責任を考える	現代社会における工業の在り方についてレポートに考察させる。	○主体的に学習に取り組む態度	4
10 月	役割と責任を考える	役割と責任について振り返ることで理解を深めさせる。	評価方法：観察 ○思考・判断・表現	3
11 月	支え合う社会	ボランティア活動を通して、社会的支援について考えさせる。	評価方法：レポート ○知識・技能	10
12 月	支え合う社会	地域の祭りに参加し、共生社会について考えさせる。	評価方法：レポート	2
1 月	支え合う社会	支え合う社会について振り返ることで理解を深めさせる。	○主体的に学習に取り組む態度	3
2 月	地域社会を築く	地域社会における自らの生き方について考えさせる。	評価方法：観察 ○思考・判断・表現	2
3 月	地域社会を築く	地域社会における自らの生き方について考えさせる。	評価方法：レポート ○知識・技能	1